

# 1. 調査報告概要表

## 【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成19年10月11日

### 【評価実施概要】

事業所番号	2770901037
法人名	医療法人 祐生会
事業所名	グループホームみどりヶ丘荘
所在地	高槻市奈佐原4丁目7番1号 (電話) 072-692-3287

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成19年9月25日

### 【情報提供票より】(平成19年8月30日事業所記入)

#### (1) 組織概要

開設年月日	平成13年4月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	7人
職員数	8人	常勤	4人, 非常勤 4人, 常勤換算 6.2人

#### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨ALC造り		
	1階建ての	1階 ~	1階部分

#### (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	34,500円	その他の経費(月額)	約23,610円
敷金	有( )円 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(70,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	150円	昼食 400円
	夕食	400円	おやつ 150円
	または1日当たり 円		

#### (4) 利用者の概要 (平成19年8月30日現在)

利用者人数	7名	男性	1名	女性	6名
要介護1	0名	要介護2	4名		
要介護3	2名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 89歳	最低	81歳	最高	96歳

#### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人祐生会 みどりヶ丘病院
---------	-----------------

### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

医療法人が運営するグループホームで、介護老人保健施設が併設されています。「利用者様がくつろげる環境を作り」「利用者様の一人ひとりを理解する心と体のケア」を理念として掲げ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、社会的な関係を保ちながらその人らしく暮らしていただけるよう支えています。職員は利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に沿うよう支援し、言葉かけや態度は明るくやさしい雰囲気です。医療連携により、必要に応じて併設の老健の看護師に看護を依頼しています。

### 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 前回の外部評価で示された事項について改善が進み、地域への働きかけが進んで交流が増え、大阪府立介護情報・研修センター「実践者研修」の講師でもある管理者が中心になって職員の研修を進め、記録に残しています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は全職員で行い、管理者がまとめて職員の見解も聞きながら完成させサービスの具体的な改善に取り組もうとしています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は高槻市介護保険課職員、民生委員、自治会代表、家族の参加のもと、2ヶ月毎に開催しています。会議では運営状況や行事予定、利用者の生活ぶり、職員の紹介、外部評価の結果の説明等をし、地域の理解を得て交流を深める方法等の課題について話し合っています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族が訪問する機会が多く、面会時には利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、行事についても写真とともに報告しています。利用者の健康や安全に関わる事項についてはその都度、家族へ電話で報告をしています。金銭を利用者が自己管理して買物を楽しんでおり、ホームが金銭預かりをしている例はありません。家族とは面会時にできるだけ会話をし、家族が希望や願い、不満を表現するように対応するとともに、苦情箱を設置する等、家族の意見を表せる機会を設けています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 併設施設と合同で地域のボランティアを受け入れ、書道や落語の会に利用者が参加し楽しんでます。利用者が地域に出かけ買物する商店や外食する店と馴染みになり交流しています。

## 2. 調 査 報 告 書

(  部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「利用者様がくつろげる環境を作り」「利用者様の一人ひとりを理解する心と体のケア」を理念として掲げ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、社会的な関係を保ちながらその人らしく暮らしていけるよう支えています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は明文化してホーム内に掲示されています。月例のミーティングや日々の業務の中で管理者と職員は理念を共有するべく話し合っています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	併施設設と合同で地域のボランティアを受け入れ、書道や落語の会に利用者は参加し楽しんでます。利用者が地域に出かけ買物する商店や外食する店とも馴染みになり交流をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価で示された事項について改善が進み、地域への働きかけが進んで交流が増え、「大阪府認知症介護指導者」でもある管理者が中心になって職員の研修を進め、記録に残しています。自己評価は全職員で行い、管理者がまとめて職員の意見も聞きながら完成させ、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は高槻市介護保険課職員、民生委員、自治会代表、家族の参加のもとで、2ヶ月毎に開催しています。会議では運営状況や行事予定、利用者の生活ぶり、職員の紹介、外部評価の結果の説明等を行い、地域の理解を得て交流を深める方法等の課題について話し合っています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者と地域包括支援センターの担当者との意見交換や相談の機会が多く、サービスの質の向上に取り組んでいます。管理者の働きかけにより認知症介護について地域の事業者間の交流連絡会議が計画され動きはじめています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族が訪問する機会は多く、面会時には利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、行事についても写真とともに報告しています。利用者の健康や安全に関わる事項についてはその都度、電話で家族へ報告をしています。金銭管理については、利用者が自己管理して買い物を楽しんでいます。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは面会時にできるだけ会話をし、家族が希望や願い、不満を表せるように対応するとともに、苦情箱を設置し家族の意見を表せる機会を設けています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	この一年、職員の離職率は高くなっていますが、併設の老健からベテランの職員を補充し、新人職員の採用についても本採用前の試用期間で利用者との馴染みの関係が大丈夫かどうかの判断を十分に行うとともに、採用時研修やトレーニングの強化により、利用者への影響は最小限に抑えられています。法人内での定期異動は実施していません。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は「大阪府認知症介護指導者」でもある管理者を中心とした法人内研修に参加し、記録に残しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者の人達や介護福祉士同士のつながり、仲間意識を大切にしている管理者は、普段から交流や意見交換に熱心に取り組んでいます。管理者の働きかけにより、認知症介護について地域の事業者間の交流連絡会議が計画され動きはじめています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前の職員による家庭訪問、あるいは利用者や家族のホームの見学や体験入居等を通じて馴染みの関係を作り、家族や本人の不安を取り除き、安心して入居しサービスを受けられるようにしています。利用者が入居時に必要な荷物を家まで取りに出かけた例もあります。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	利用者から学び支え合う関係を築くために、家事を一緒に行い、利用者からいかにさばき方や一夜干しの作り方等を教わることで、特技を発揮してもらうなど、ホーム内で役割を持って生き活きと活躍しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望に沿い、生き活きと生活を楽しめるように利用者の生活を支援しています。夜の入浴を希望する利用者、併設老健のリフト浴や広い一般浴槽での入浴を希望する利用者に対し、可能な限り希望に応えられるよう支援しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式をベースに独自で作成した「入居者個別情報表」による現在の暮らしや、心身の状況、生活歴からアセスメントを行い、医師の意見、利用者と家族の意向・願いを反映した介護計画を作成し、家族の同意も得ています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的には6ヶ月毎に、状態の変化がある時はその都度見直しをしています。2ヶ月毎にサービスの実施状況、ケア目標の達成度、利用者・家族の満足度を盛り込んだ「モニタリング・評価」を行い、見直し前にサービス担当者会議を行って6ヶ月毎の介護計画の見直しにつなげています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携により、併設の介護老人保健施設の看護師が必要に応じて看護を行い、利用者一人ひとりに対し、かかりつけ病院への通院介助もしています。地域のボランティアも受け入れています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望により昔からかかりつけの医師に引き続き医療を受けている利用者もあり、必要により通院介助をしています。併設の介護老人保健施設と連携し、夜間や急変時の対応についての体制整備も整っています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在対象となる利用者はいませんが、ホームとしては将来看取りを実施する予定で利用者・家族との話し合いを行い、運営推進会議でも方針の説明をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員の言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。個人情報の取り扱いについても職員に書面で周知徹底しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと好きなことをしながら暮らせるよう支えています。職員が利用者を制止したり、急かしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。体調の悪い利用者には時間をずらして希望を聞き、食べられそうな食べ物を用意したり、夜の入浴を希望する利用者には入浴時間を夜にして対応しています。		



外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	全食事をホームで調理しています。利用者は買物、下ごしらえ、調理、盛り付け、食事、後片付けにいたる一連の流れに参加し楽しんでいきます。玄関前の広場で炭火を使って秋刀魚を焼いたり、バーベキューを楽しんだりもしています。訪問日、台所に貼ってある食事メニュー表には当日の昼食までしか書き込みがなくその都度何を食べたいか利用者と相談しながら対応している様子が伺われました。職員は利用者と同じものを食べながら、利用者の食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しく和やかな雰囲気を作っています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者は毎日、どの時間帯でもゆっくり寛いだ入浴ができています。毎日入浴している利用者もいます。部屋で足浴をしたり、併設の老健のリフト浴や広い一般浴も利用できています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴については複数の職員が協力して記録作成した「入居者個別情報表」により好きなこと・嫌いなこと、できること・できないことを把握しています。多くの利用者は一日の生活の中で家事にそれぞれの役割を見つけ張り合いのある生活を送っています。職員が先生として編み物教室に参加したり、地域のボランティアが先生となり書道教室に参加しています。また季節の花づくりや野菜菜園での園芸にも利用者は参加する等、楽しんでいきます。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の散歩や2日毎に食材購入へ出かけた後、利用者が一人で併設老健の喫茶店に行ったり、元利用されていた隣のケアハウスに出かけた後、所在の確認をしながら見守っています。外食や季節の行事に合わせた外出の支援も行っています。利用者一人ひとりに合わせた個別の外出も家族と話し合っており、孫と一緒に広島まで旅行された例もあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中の時間帯は玄関に鍵は掛かっていません。職員がさりげなく付き添い見守ることにより、利用者は自由に外出ができるようになっています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策のマニュアルが作成され年2回、同一法人の4施設と合同で消防避難訓練を実施しています。食料と水の備蓄については冷蔵庫や収納庫に在庫があり併設の老健にもホーム分の非常食と水が確保されています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分摂取量を把握し記録をとっています。一日の水分摂取量については利用者の体重×30mlを目標に水分補給を支援しています。栄養バランスについては老健の管理栄養士から週1回のアドバイスを受けています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関周りには季節の花、観葉植物、手作り作品が飾られ訪ねやすい雰囲気になっています。少し縦長のリビング兼ダイニングルームの片側には居室が並び、反対側にはソファ、机と座椅子のある居心地の良さそうな和室や調理スペース、職員の事務室があり目の届きやすい構造になっています。居間には、花屋から10日ごとに届く季節の花を使って利用者が生けた花を飾り、また書籍や新聞、雑誌、レクリエーション道具、果物やお菓子がさりげなく置かれ、生活しやすい家庭的で落ち着いた雰囲気になっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはホームが提供するベッドの他、利用者が使っていた整理タンス、収納ケース、衣装掛け、ソファ、テレビ、絨毯、こたつ、飾り棚、仏壇、花、装飾品、家族の写真、ラジカセなど使い慣れた馴染みの古い物や生活用品を持ち込み、利用者が安心して過ごせる場所となっています。		